# 第８期朝来市行財政改革推進委員会　第 10 回会議　会議録

○　開催日時　　令和８年８月７日（金）13 時 30 分～15 時 30 分

○　開催場所　　朝来市役所本庁４階　401 会議室

○　出席者の氏名

| | 出席者 | 欠席者 |
|---|---|---|
| 委　員 | 足　立　崇　宏 | 小　坂　祐　司 |
| | 上　垣　英　暁 | 中　尾　一　平 |
| | 小　田　正　儀 | 山　下　太　一 |
| | 北　見　龍　彦 | |
| | 倉　田　良　樹 | |
| | 下　口　光　子 | |
| | 横　内　洋　祐 | |
| アドバイザー | 細　川　甚　孝 | |
| 事務局<br>企画総務部<br>総合政策課 | 企画総務部長　笠　垣　和　幸 | |
| | 企画総務部次長兼<br>総合政策課長　和　田　幸　司 | |
| | 総合政策課副課長　小　山　修　平 | |
| | 総合政策課係長　小　山　亮　介 | |
| | 総合政策課主事　鴻　村　　李 | |

○　傍聴者　なし

○　**会議**

**１　開会**

第８期朝来市行財政改革推進委員会の第 10 回会議を開催します。

**２　会長挨拶**

本日の審議では、本日の会議内容は、令和８年度朝来市事務事業評価【外部評価】に関する審議と、第５次朝来市行財政改革大綱案（修正版）に関する審議となっている。よろしくお願いしたい。

**３　審議**

**（１）令和８年度朝来市事務事業評価【外部評価】**

資料１「令和８年度朝来市事務事業評価【外部評価】実施の流れ」について事務局より説明。

第 10 回会議では、芸術文化課の「文化会館自主文化事業」と、都市政策課の「路線バス等生活交通利用促進事業」が対象であり、Ａグループと Ｂグループに分かれて審議を行う。外部評価内容の詳細については別紙のとおり。

・文化会館自主文化事業（判定：改善）

良質な芸術文化を市民に届けるために重要な事業であるが、委員会の高齢化や長期にわたる任期といった課題に加え、市民ニーズに沿った事業の展開やイベント情報の周知方法については、さらなる改善が必要であるとの意見が挙げられた。

また、朝来市として、戦略的に芸術文化活動をどう考えていくかが大切であり、他市との広域連携や体験型イベントの企画、特定のものに特化した企画など、特色ある催しを考え朝来市の強みを出すべきとの意見が出た。

・路線バス等生活交通利用促進事業（判定：改善）

市民の利便性向上に加え、福祉対策としても有意義な事業であるが、予約が取りにくい、一部の市民の利用が多く「貸切状態」が多く見受けられるといった課題がある。

解決策として、単なる制度拡充で市の負担を増やすのではなく、今後の IC カード導入に合わせ、妥当な利用上限回数の設定や超過分の自己負担により、利用者間の偏りを是正する改善が必要であるとの意見でまとまった。

**（２）第５次朝来市行財政改革大綱案の修正に関する審議**

第１章の修正箇所について事務局より説明。

**アドバイザー**　Ⅰ－２「成果と課題」について、目標未達成となった項目について、なぜできなかったのかという課題の要因を反映する必要があるのではないか。

また、人口減少・少子高齢化について、これまでは人口減少を抑えるとしてきたが、諦めのようなイメージを持つ表現になっていないか。

**事務局**　目標未達成の取組については、実績のトレンドとしては上がっているが目標値に達しなかったものや、そもそも効果が出ていないものなど、取組によって設定された指標の性格が異なるため、単に未達成だから「×」と評価するのではなく、その要因を考える必要がある。

また、人口減少の捉え方については、総合計画で 20,000 人という人口を維持したいと目標人口を設定している一方で、人口が減っても行政として成り立つようにしていくという行革の視点もある。文章の表現については再度整理する。

**委員**　３「厳しい局面を迎える財政状況」のグラフについて、グラフが視覚的に分かりにくい。パッと見て減少額が分かるようなグラフに工夫してほしい。

**事務局**　グラフについては行財政改革推進本部会議においても様々な意見が出ており、グラフ間を線でつなぐなど、減少額がより見やすい形になるよう変更を検討する。

第２章の修正箇所について事務局より説明。

**委員**　Ⅰ－１「改革理念」における「未来へつなぐ、持続可能な行政経営」という言葉から、歳入確保や財政規律に重きを置くスタンスが読み取れる。基本方針１－（１）「戦略的な自主財源の確保」と踏み込んだ表現があるが、具体的にどのように戦略的に財源を確保していくのか、もう少し具体的に記載した方が分かりやすいのではないか。

**事務局**　「戦略的」とは、各施策をしっかりと取り組むという意味合いであるが、一方で特定の新たな自主財源を期待させてしまう懸念もある。大綱案では概念的な表現にとどめ、具体的な取組内容については、実施計画の中で設定する予定であることから、「安定的な」「積極的な」といった別の表現に変更する。

**委員**　官民連携などの専門用語については、なるべく市民に分かりやすい表現にしてほしい。

**事務局**　大綱案の内容が確定した段階で、難しい言葉や専門用語については用語説明をつける。

**委員**　「行かない市役所」という表現について、比喩であるとは理解するが、市民から「サボっているのではないか」というネガティブな反応が出ないか懸念される。

**事務局**　「行かない市役所」は、窓口に出向かなくても、自宅からマイナンバーカード等を使って様々な申請手続きができる環境を整えるという意味である。

　一方で、住民との接点が減るという側面もあり、ご意見を踏まえ、適切な表現になるよう検討する。

**委員**　デジタル技術の活用は、市民生活においてもなくてはならない重要なものである。発展させることができるものについては発展させるという、ポジティブな表現を取り入れていくことを期待する。

**委員**　推進体制図における、地域や市民に対する公開とは具体的にどのようなものか。

**事務局**　毎年度実施している進捗状況の審査結果の公開など、行財政改革に関係する様々なものを「公開」と表現している。

**（３）会長コメント**

本日は前半で令和８年度事務事業評価（外部評価）、後半で第５次朝来市行財政改革大綱案の修正版に関する審議を行った。事務事業評価（外部評価）では、２グループとも活発な意見交換ができたと思う。

## ４　その他

（１）第９回会議録（７月 17 日開催）の確定

修正連絡なしのため、第９回会議録を確定する。

（２）中間答申について

日時：８月 28 日（金）14 時 00 分～14 時 30 分
場所：本庁舎３階　応接室
備考：当日は倉田会長のみ

（３）次回会議日程

日時：10 月５日（月）９時 00 分～12 時 00 分
場所：本庁舎４階　401・402 会議室
内容：第５次行財政改革大綱に基づく実施計画に関する審議

## ５　閉会

**副会長**　令和８年度事務事業評価（外部評価）も、第５次行財政改革大綱についても、大変有意義な審議となった。内容については、さらに学んでいかなければならないと実感したため、今後ともよろしくお願いしたい。